

ふるさとふちゅう

再発見

【第60回】府中が農村だったころ（20）～府中町内の山（3）

前回、呉娑々宇山^{ごささうざん}が歌われている学校の校歌をご紹介します。記事を読まれた方から新たな情報をいただきましたので続編として紹介します。まず町内唯一の全日制高校である広島県立安芸府中高等学校です。

『広島県立安芸府中高等学校校歌』（2番）
「呉娑々宇の嶺に抱かれて いちようこずえの風さやか 友の和開く 学び舎に まことの道を究めんと 好学愛知ひとすじに 学ぶはわれら 安芸府高」（昭和55年、作詞・谷本勝信、蔵本正紀）

呉娑々宇山麓に位置する学校のシンボルは銀杏。すすくと伸びる銀杏の木が安芸府高生の若さと可能性を表現しているとのこと。

次に、府中小学校の前身の府中尋常高等小学校です。昭和48（1973）年に府中小学校百周年を記念して『創立百周年記念誌』が発行されましたが、その書名は『ごさそう』です。その中に現校歌とともに旧校歌が掲載されています。戦前の忠君愛国の教育から、戦後の自由な教育を目指すため、校歌も新しくしたのでしょう。

『府中尋常高等小学校校歌』（2番）
「見よ 呉娑々宇の山高く 昇る朝日の輝きは やがてわれらの希望なり いざや 学びに勤しみて 務めはげまん 君のため 務めはげまん 国のため」（明治6年）

情報提供された方は、小学生の時に遠足で呉娑々宇山を登ったそうです。昭和45（1970）年の卒業アルバムには、山道を登る行列が写っています。頂上での記念写真もあり、約280人の児童がクラスごとに並んでいます。『ごさそう』には昭和48年にも4年生が岩谷観音へ、5年生が呉娑々宇山へ登山したとあります。小学生が海拔682.2メートルの頂上までよく歩いて登ったものだと感じます。また、これだけの人数による団体行動でトイレはどうしたのでしょうか。



卒業アルバムの写真

府中町文化財保護審議会委員

菅 信博

私が「府中町魅力特捜部！」です。

魅力発信！

まち記者レポート

八幡 敬浩 さん

私は「府中町魅力特捜部！」という名前で7月からX（旧Twitter）やInstagramに投稿しています。ジャンルは町内の文化財や飲食店などのスポット、イベント、町ゆかりの有名人など。心がけているのは、「実際に訪れること」。自転車や徒歩で町内を回っていると小さな発見があるので、やっぱり楽しいです。また、Xではアンケート機能を使って「府中町クイズ」を出題しています。これまでに1番反響があったのは地名の読み方に関する問題。正答率が高く意外でした。みなさんも下記のクイズに挑戦してみてください。

こうした活動によって、たくさんの方々に府中町を知ってもらい、少しでも府中町が明るく元気な町になればいいなと願っています。

府中町クイズ（答えは右下）

府中町にあるこの地名は
なんと読むでしょうか？

【鹿籠】

①しかかご

②かろう

③しかご

④こごもり

◆府中町公式Instagramで府中町まち記者の投稿を随時紹介しています。



私が魅力を感じる行事トップ3

①山田十二神祇
300年以上の歴史があると
言われる伝統芸能。

②朝パッ君健康
フェスタ
イオンモールで自分の
健康を気軽にチェック。

③府中つばき祭り
さまざまなステージや
出店があり、神楽で締め
くくる町最強のお祭り。

私が魅力を感じる場所
トップ3

①多家神社



②水分峡森林公園



③イオンモール広島府中

府中町クイズの答えは④です。